

9月村議会定例会 決算認定など14議案を審議・可決

9月26日・27日の2日間、9月村議会定例会が開催されました。議会では、平成23年度一般会計をはじめ、6つの特別会計の決算認定を含む14議案が審議され、いずれの議案も原案どおり認定可決されました。

決算認定

◆平成23年度東秩父村一般会計ほか、国民健康保険、介護保険、合併処理浄化槽設置管理事業、後期高齢者医療、簡易水道事業、村営バス事業の6つの特別会計の歳入歳出決算が認定されました。

補正予算

◆平成24年度一般会計および国民健康保険、介護保険、簡易水道、村営バス事業の各特別会計の補正予算が可決されました。一般会計では、歳入において普通交付税の交付額と平成23年度からの繰越金額が確定したこと、また歳出においては、村道2・4号線道路新設改良工事や建設残土置き場の土地購入費などを盛り込み、1億9323万8千円を増額しました。各特別会計も主に平成23年度からの繰越金が確定したための補正措置で、国保で3935万

条例改正等

円、介護で319万5千円、簡易水道で471万8千円、村営バスで111万6千円を増額しました。

◆村長の給料の額の特例に関する条例について

(内容) 村長の給料を現村長が在職している間、100分の30に相当する額を減額するものです。

◆職員勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

(内容) 人事院規則の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

一般質問

吉田英夫議員

質問 新村長抱負について

(内容) 新聞報道で、「空席だった副村長席を復活させる意向」と書かれていたが、その根底にある理由、真意は何か。

答弁 前若林村長は、役場職員

(内容) 就学前にパソコンの基礎を学んでいけば、小学校上がった時点でパソコンに慣れ親しむことができ、好奇心旺盛な教育ができるのではないかと。

答弁 現代社会はパソコン等出てきたり前と言われるほど、生活機器の一部にもなっています。パソコン教育は小学校から取り入れられており、基礎は幼児期からの慣れ親しみが大事と共感します。幼児向けの教育ソフトもありますので、遊びから興味を持たせられたらと思います。財政的な課題はありますが、子どもたちの状況や保護者会の意見等を伺いながら、設置を検討していきたいと考えます。

質問 いじめ問題について

(内容) 滋賀県大津市のいじめの問題は、全国の学校に覚醒の警鐘となる事件でありました。万が一東秩父村でこのような事件が起きた場合、どう対処し、どのようなプロセスを経て問題解決するのか。

答弁 毎月開催している校長会で情報交換し、課題への対応を話し合っています。また、教育委員会でも同様の課題について話し合った結果、まずは小さなケースの段階で手を打つことが重要という結論に達し、いじめの総点検と指導の徹底、教育相

談活動の充実、家庭や関係機関との連携を密にする、人権教育の趣旨の徹底を各学校に周知しました。教職員が連絡を取り合っ、アンテナを高くし、得られた情報は交換し合っていたことが重要であると考えています。いつも目に見えない課題が存在するというのを、関係者全員が意識することが大切と思っています。次に発生した場合のプロセスですが、どのような課題であっても、関係者が全容の把握に努め、教育委員会としては現場を良く認知し、関係者の話し合いの上に問題の解決策を見出したいと考えています。必要があればスクールカウンセラー、児童相談所、警察との連携も視野に入れていきます。

福島重次議員

質問 新村長の就任にあたり、今後の村政運営について

(内容) 選挙戦で訴えた「8つのビジョン」について、具体的にどのように展開していくのか。

①「村長の給料30%カット」について

答弁 今定例会で条例案を提出しています。

②「子育てしやすい村づくり」について

答弁 保育園での1歳児の受入れ、保育園や小中学生の給食費